

山形国際ドキュメンタリー映画祭2021
プレ・イベント

山の 恵みの 映画たち

2020

□上映作品

地球交響曲第三番

白き氷河の果てに

山の医療団

Mount Zao (蔵王山)

黒部峡谷探検

小屋番 涸沢ヒュッテの四季

星々の記憶

in the time and light of Hodaka

おこんじょうるり

劇場版 ごん

GON, THE LITTLE FOX

粘菌

はじまりの知性-ザ・クリーピング・ガーデン

僕は猟師になった

山の焚火

我ら山人たち

我々山国の人間が山間に住むのは、我々のせいではない

緑の山

□トークゲスト

飯澤政人 氏

伊勢真一 氏

川上新一 氏

田口洋美 氏

□関連上映

アイヌモシリ

プラスチックの海

11/27(金)28(土)29(日)

フォーラム山形

photo by katsuhiko URAYAMA

○ ゲストプロフィール

飯澤政人氏 トーク11/28

登山家。天童市出身、東根市在住。
2018年に世界で最も登頂困難とされるK2(標高8611m)に、山形県人として初めて登頂を果たした。登山ガイド、山岳フォトグラファーとしても活躍する。

川上新一氏 トーク11/29

筑波大学大学院生命環境科学研究科博士課程修了。
博士(生物科学)。主に粘菌の分類学を専門に研究。2017年までは山形県立博物館に在籍し、現在は、和歌山県立自然博物館学芸員として菌類・粘菌類を担当。

伊勢真一氏 トーク11/29

映画監督、プロデューサー。代表作『奈緒ちゃん』をはじめヒューマンドキュメンタリーを主に多くの作品を手がける一方、若手ドキュメンタリストのプロデュースに力を注ぐ。最新作『えんとこの歌』が令和2年度文化庁・文化記録映画優秀賞を受賞。

田口洋美氏 トーク11/28

狩猟文化研究所代表、東北芸術工科大学教授。
20代半ばに映画製作スタッフから研究者へと転身し、中部東北日本の狩猟文化研究で実績を積む。民俗学、文化人類学、環境学を専門とする狩猟文化研究者。

関連作品 「山の恵みの映画たち 2020」 前売券はご使用になれません 上映場所：フォーラム山形

アイヌモシリ

11/13(金) - 19(木)

監督: 福永壮志 / 出演: 下倉幹人、リリー・フランキー / 日・米・中 / 2020 / 84分

アイヌの血を引く少年の成長を通して現代に生きるアイヌ民族のリアルな姿をみずみずしく描き、第19回トライベッカ映画祭で審査員特別賞を受賞した人間ドラマ。自然の中で育まれたアイヌの精神や文化、アイデンティティを今こそ見つめる視線の力。



プラスチックの海

12/4(金) - 10(木)

監督: C・リーソン / 製作総指揮: レオナルド・ディカプリオ / 英・香港 / 2016 / 100分

地上から海へと流出したプラスチックごみは永久に分解されることなく、クジラや海鳥などの海洋生物、そして人体に影響を及ぼしている。

謎に包まれた海洋プラスチックの循環をたどり、危機的現状に警鐘を鳴らす。



YIDFF 金曜上映会 ◆鑑賞会員無料 (当日受付にて入会可・11/13 特別版のみ要申込)

〈金曜上映会特別版〉

山形から生まれたテレビ・ドキュメンタリーが観たい!
TUY テレビユー山形 編

- ①「ローカル魂 朝日連峰大縦走 原始の山に行く」
40年間朝日連峰を見つめ山小屋を守り続けてきた西澤さんと行く、30キロの大縦走。
- ②「絆のカタチ ～南三陸町被災児童が作る卒業映画～」

日時: 11/13(金) 15:00 / 18:30 2回上映+トーク
会場: やまぎん県民ホール3F スタジオ2 ※要申込
お申込先: 023-666-4480 (映画祭事務局) 映画祭Webサイトより

〈金曜上映会〉


『アルプス・バラード』 YIDFF'97インターナショナル・コンペティション
監督: エリッヒ・ラングヤール / スイス / 1996 / 35mm / 100分

20世紀末のアルプスの酪農一家の日常。
映画のなかには言葉も台詞もほとんどなく、カメラはただゆっくりと動く。観客は、自身の内なる農民性に直面する。



日時: 11/20(金) 14:00 / 19:00 2回上映
会場: 山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー 試写室 (ビッグウイング3F) ※申込は不要です。

主催: 「山の恵みの映画たち」上映実行委員会
主幹: 認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
協力: 国立映画アーカイブ 後援: 山形市創造都市推進協議会
お問合せ: 山形国際ドキュメンタリー映画祭 ☎ 023-666-4480

関連書籍販売 
会場には、上映作品や山にまつわる本がたくさん揃います。
映画と共に「山の恵み」がより深まる一冊をお求めください。



facebook

2年に1度の映画のお祭! 開催日程決定!
第17回「山形国際ドキュメンタリー映画祭2021」

2021年10月7日(木) - 14日(木)

山の 恵みの 映画たち 2020

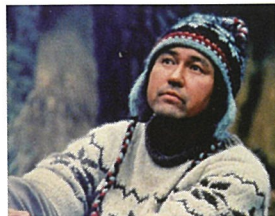
山と人とのつながりを描いた映画の数々が今年も山形にやってきました。
古今東西の名作が揃った14作品・10プログラム、山形ならではの多彩なラインナップです。
4回目を迎えた「山の恵みの映画たち」をどうぞ存分にお楽しみください！

『地球交響曲第三番』

監督：龍村仁／日本／1997／150分

私たちは、母なる星地球（ガイア）の大きな生命の中に生かされているという実感を持つことが出来るか。

写真家 星野道夫、宇宙物理学者 フリーマン・ダイソン、海洋冒険家 ナイノ・ア・トンプソン。いま静かにこの作品と向き合いたい。



提供：龍村仁事務所

『山の医療団』

監督：ジジ・ベラルディ／ビルマ、ヴェトナム、タイ／2019／65分

道なき道、暗闇を超えて、紛争で孤立した少数民族の居住地域に医療を届ける。過酷な環境の中、タフで前向きな医療団と、その背中を追って医療を学ぶ村の若者の成長を描いた僻地医療ドキュメンタリー。

YIDFF 2019 アジア千波万波



『黒部峡谷探検』 ★鈴木崇氏（作曲家）によるバイオリン生伴奏つき上映

撮影：白井茂／日本／1927／24分 ※サイレント作品

登山家・冠松次郎を案内役に白井茂がカメラを回し、黒部ダム竣工前の峡谷の姿を捉えた記念碑的作品。

屹立する岩壁、圧倒的な水量、果てしなく続く雪渓、道なき道をゆく登山家と撮影隊。原始の黒部がここによみがえる！



国立映画アーカイブ所蔵

『劇場版 ごん - GON, THE LITTLE FOX -』

監督・脚本・美術・木彫・アニメート：八代健志／日本／2019／28分

新美南吉の『ごんぎつね』がストップモーション・アニメーションという新たな世界観で描かれる。真っ赤に咲いた彼岸花、生命が無常巡る里山、無器用なもの同士、小ぎつねごとと兵十の優しく哀しいすれ違いの物語。今観るべき名作。



『おこじょうり』

監督：岡本忠成／婆さまの声：長岡輝子／日本／1982／25分

これぞ世界に見せたい人形アニメの傑作！生きるのが下手な狐、占い下手のイタコ婆さま。山郷の村、孤独な魂が会って寄り添い生きる。浄瑠璃で病を治す神通力を授かってイタコ商売は大繁盛。だが、そんなある日……。心揺さぶる表現力、おそるべし。



© (株) 桜映画社 / (株) エコー

『白き氷河の果てに』

監督：門田龍太郎／日本／1978／123分

世界第2のK2 (8611m)は8000m14座の中で最も難しい。1977年に挑んだ日本隊は7人が頂上に立った。だがこの時の隊は一匹狼の寄せ集めと評された。映画は困難な登頂の記録であり、多彩な人間模様でもある。



★トーク 飯澤政人氏

『Mount Zao (蔵王山)』

監督：塚本閑治／日本／1935／12分 ※サイレント作品

冬山登山に訪れた一行が、厳しくも美しい雪と氷の世界に踊る。逆光に映し出されるスキーヤーと稜線のシルエット、見渡す限り続く樹氷の群れ。

国内外の映画祭で多くの賞を獲得し、ZAOの樹氷を世に知らしめた。



『小屋番 涸沢ヒュッテの四季』

★トーク 伊勢真一氏

監督：伊勢真一／撮影：宮田八郎ほか／日本／2013／69分

北アルプス・穂高岳の涸沢ヒュッテを舞台に、まさに山の影武者「小屋番」たちの日々を追うドキュメンタリー映画。時に死と向き合う大自然。山と人を守る裏方に徹して生きる番人たちの仕事、思い、穂高を愛する番人たちの笑顔と自由に乾杯！



提供：いせフィルム

『星々の記憶 in the time and light of Hodaka』

★トーク 伊勢真一氏

監督・撮影：宮田八郎／日本／2017／40分

穂高岳山荘の小屋番 故・宮田八郎氏が私たちに残してくれた宝石のような映像に息を飲む。優しく荒々しく雄大で繊細な山や自然の表情、満天に輝く星々、その沈黙の眩きに包まれる幸福と驚きの体験。穂高岳連峰への宮田の深い愛が全編を貫いている。



© 宮田八郎

『粘菌 / はじまりの知性 - ザ・クリーピング・ガーデン』

★トーク 川上新一氏

監督：ティム・グラバム、ジャスパー・シャープ／イギリス／2014／81分

粘菌は、枯れ木や葉っぱ、自然のあちこちに棲んでいます。その小さくカラフルな生き物は、食事をしたり形を変えたり、少し複雑で頭のいい生き物でもあるのです。

この不思議な世界を綺麗な映像とともに覗いてみましょう。



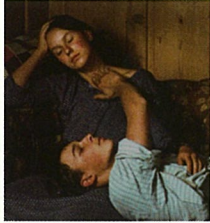
© 2014 CINEMA ILOOBBIA/GLOBAL FLANEUR

『山の焚火』

監督・脚本:フレディ・M・ムラー/スイス/1985/117分

山小屋で暮らす聾啞の弟と、食料を届ける姉。焚火を囲み楽しい時間を過ごすのがやがて姉の妊娠が発覚し…。

雄大な自然に生きる家族の神話的な物語は、世界にムラーの名を轟かせた。ロカルノ国際映画祭金豹賞受賞。



『我ら山人たち』

我々山国の人間が山間に住むのは、我々のせいではない

監督:フレディ・M・ムラー/スイス/1974/108分

近代化の波が押し寄せるアルプスの溪谷。悠久の時を経て築かれた自然との共生のバランスが崩れ始める。

『山の焚き火』へと繋がる多くの要素が詰め込まれた、山人たちの生き方と精神性をみつめるドキュメンタリー。



『緑の山』

監督・原案:フレディ・M・ムラー/スイス/1990/128分

生活の足元に突如浮上した放射性廃棄物処理場の建設計画。賛成派、反対派、さまざまな立場の人間の声が地域や時代を超えた普遍的な問題を提起する。

ムラーは本作を「子どもたちと子どもたちの子どもたち」に捧げた。



『僕は猟師になった』

監督:川原愛子/ナレーション:池松壮亮/日本/2020/99分

「ぼくは猟師になった」の著者、わな猟師・千松信也さんに密着したドキュメンタリー。

京都大学卒の現役猟師千松信也さんは家族と共に京都の街と山の境に暮らし、自分たちが食べる肉は自ら獲る。わなで捕らえた猪や鹿を木で殴りし気絶させ、ナイフでとどめをさす。自然の中で命と向

★トーク 田口洋美氏

き合う千松さんと家族の日常は、真の豊かさとは何かを生々しく問いかけて来る。

子供たちに伝えられる生命観。猟の師匠や仲間との交流。この古くて新しい暮らしを淡々と生きる情熱が、今こそ凄い!



提供:リトルモア/マジックアワー

上映スケジュール (変更の場合がございます。最新情報は映画祭ウェブサイトをご覧ください。 WWW.yidff.jp)

11/27 (金)	10:00~ (99分) 『僕は猟師になった』	➡ 『僕は猟師になった』 こちらの作品は1週間上映します。 11月27日(金)~12月3日(木) 連日 10:00より1回上映。 ※11月30日以降も「山の恵みの映画たち」前売券がご使用いただけます。	19:30~ (150分) 『地球交響曲第三番』		
11/28 (土)	10:00~ (99分) 『僕は猟師になった』 ★トーク 田口洋美氏	13:00~ 『山の医療団』(65分) 『Mount Zao』(12分) 『黒部峡谷探検』(24分)	15:15~(123分) 『白き氷河の果てに』 ★トーク 飯澤政人氏	18:30~ (108分) 『我ら山人たち』	20:45~ (128分) 『緑の山』
11/29 (日)	10:00~ (99分) 『僕は猟師になった』	13:00~ 『小屋番』(69分) 『星々の記憶』(40分) ★トーク 伊勢真一氏	16:00~ 『劇場版ごん』(28分) 『おこんじょうり』(25分)	17:30~ (81分) 『粘菌/はじまりの知性』 ★トーク 川上新一氏	20:00~ (117分) 『山の焚火』

前売券 ※関連作品(アイヌモシリ、プラスチックの海)はご覧いただけません。

1回券 ... 1,100円 4枚つづり ... 3,600円 8枚つづり ... 6,400円

*4枚つづり、8枚つづりは複数人で分けてご使用いただけます。

*1枚につき1名1プログラムご覧いただけます。 *当日券はフォーラム山形の料金に準じます。

販売場所:フォーラム山形、山形市内プレイガイド、山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー、映画祭事務局ほか

お問い合わせ ☎ 023-666-4480
(山形国際ドキュメンタリー映画祭)

会場 フォーラム山形
山形市民会館南となり 023-632-3220

新型コロナウィルス 感染予防の取り組みについて

お客様へのおまわり

- マスクの着用を奨励いたします。
- 発熱が認められる方は観覧の中止を推奨いたします。
- 手洗いの徹底を推奨いたします。
- 来館に当たって検温いたします。

劇場の取り組み

- 劇場は1区ずつ、全20区にわけて観客数を制限いたします。
- 劇場を空けて1時間以上経過した後に観覧を再開いたします。
- スタッフや観客のマスクの着用を推奨いたします。
- 劇場内に消毒液を設置いたします。
- 劇場は毎日劇場に必ず付随している消毒作業を行います。1時間おきの劇場内上は観客が入室前や退場後必ず行われます。
- 劇場は1区あたり観客数200名を確保いたします。